

これが私の「売り」!!

山形県の在来作物に関する研究

江頭宏昌



山形県には、個性豊かな在来作物が130品目以上あります。

それらは全県全地域に分布し、山形県の多様な文化を支えてきましたが、その多くは存続の危機にあります。

在来作物はこれからも地域の人々が大切に守り、楽しみながら利用していくことが望ましいと考えます。新たな生かし方としては、地域農業の活性化、観光・食品など各種産業への新たな利用、総合学習や食農教育における教育資源、地域コミュニティの再生などがあるでしょう。

内容； 古文書を含む文献調査、現地での見聞と実験からなるフィールドワーク、実験室での各種分析の3つの手法から、地域在来の植物資源の収集・保存や特性評価に関する研究を行っています。

在来作物の食味特性の分析、DNAマーカーを利用した遺伝的類縁関係の調査、在来作物が伝えてきた歴史や文化などの調査を通して、「在来作物を伝える意義」、「地域らしさとは何か」を考えています。

所属： 生物資源学科
 専門： 植物遺伝資源学、植物育種学
 自己紹介： 山形新聞の隔週水曜夕刊に山形在来作物研究会のメンバーで「やまがた在来作物」を好評連載中。

連絡先； Tel 0235-28-2852
 e-mail egashira@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

